

平成 30 年度

# 学生によるオレンジリボン運動

新潟県立看護大学 実施報告書



実施主体 母性看護学ゼミ(+有志)

実施内容 平成 30 年 11 月 4 日 大学祭の来場者に向けた啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

大学の所在地である上越市の児童虐待の現状について事前学習を行った。その内容を踏まえ、大学祭来場者に児童虐待が身近な問題であること、上越市での児童虐待が起きている現状を知ってもらえるようなポスターを作成した。

## ②実施期間に取り組んだ具体的内容

大学祭では、餃子販売のブースの一角を使い、啓発活動を行った。取り組んだ具体的内容は、作成したポスターと児童虐待防止全国ネットワーク公式ポスターの展示、リーフレットの配布、来場者に「児童虐待予防のために私たちができること」について付箋にアイデアを書いてもらった。書いてもらった付箋は、あらかじめ準備していた模造紙に貼り付けて展示するというを行った。また、餃子の入っているパックに手作りオレンジリボンを付け、餃子の購入者にオレンジリボンを身につけてもらった。

## ③オレンジリボン運動を終えて…

地元の児童虐待の現状をもとに啓発活動を行ったので、来場した多くの方に興味を持ってもらうことができた。特に子育て世代や孫がいる世代の方は積極的に話を聞いてくださり、自身の行動を振り返る姿がみられた。「付箋にアイデアを書いて模造紙に貼る」ことに、多くの方が興味を示してくれた。このように活動内容を工夫したことで、児童虐待予防について考える機会を提供できたことがよかったと思う。

活動に参加した学生からは「自身もオレンジリボン活動や児童虐待を知るよい機会となった」という意見があり、学生にとっても有意義な活動をできたと考える。私たちは今後看護職として地域に出ていくので、今回の活動を通して学んだことを生かし、児童虐待予防に向けた活動を続けていきたい。

